

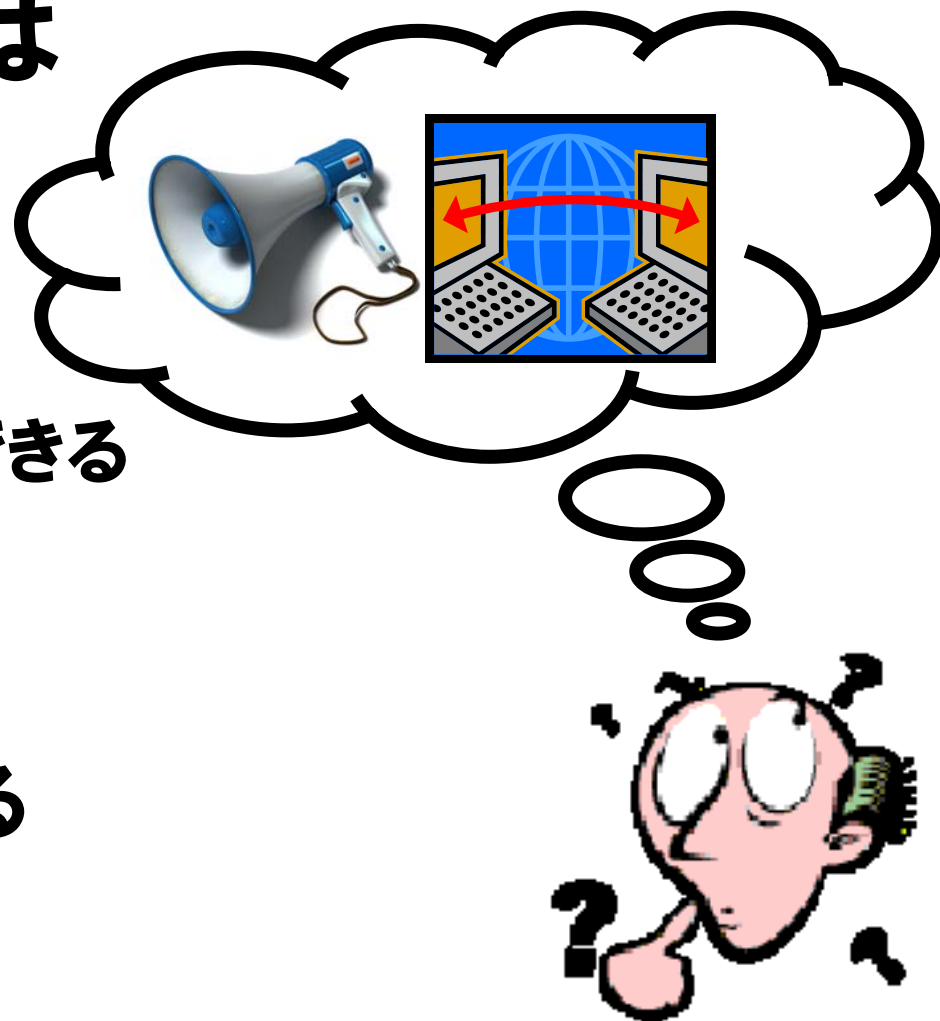


DDoSにあなただのDNSが使われる ～DNS Ampの脅威と対策～

INTEROP 2007

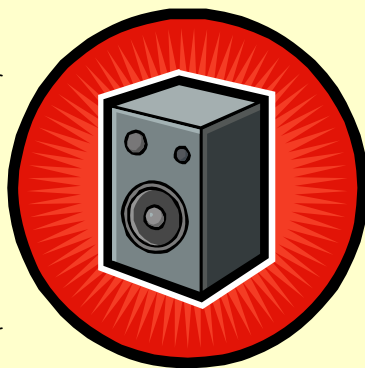
「DNS Amp攻撃」とは

- ・ DDoS攻撃の一種
- ・ DNSキャッシュサーバを悪用
 - より少ない資源で効果的に攻撃できる
- ・ 攻撃力が強い
 - 分散型、数Gbps～数100Gbps
- ・ 著名なサイトが被害を受けている
 - VeriSignやNetwork Solutionsなど



DNSがアンプ (増幅器) になる?

小さな音が大きくなる



小さなパケットが大きくなる

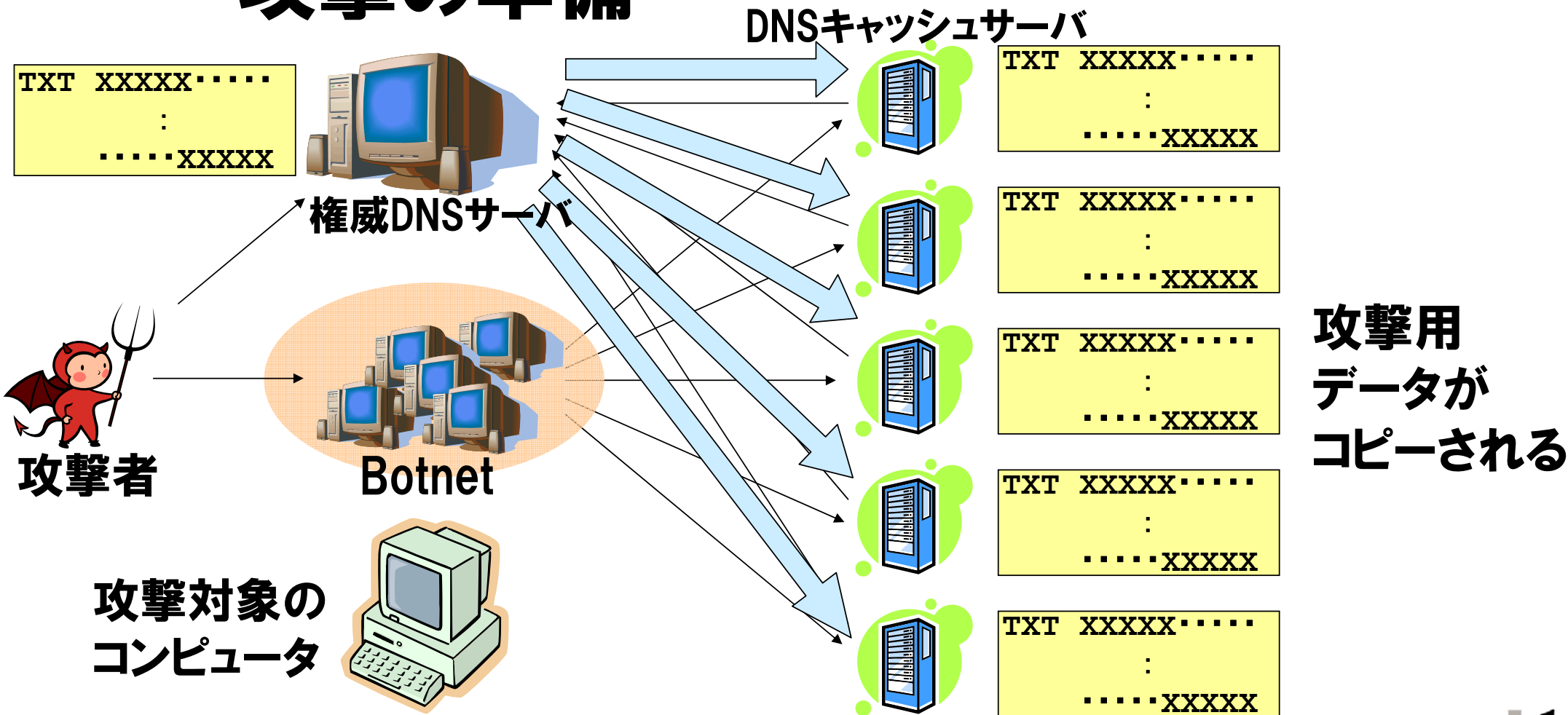


example.jp. TXT



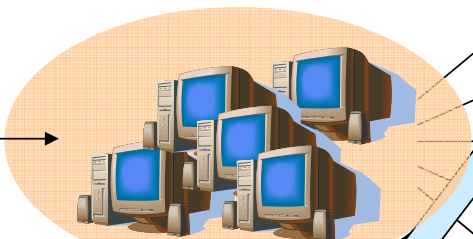
```
$ORIGIN example.jp.
@ IN TXT XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX
```

攻撃の準備



攻撃！！！！

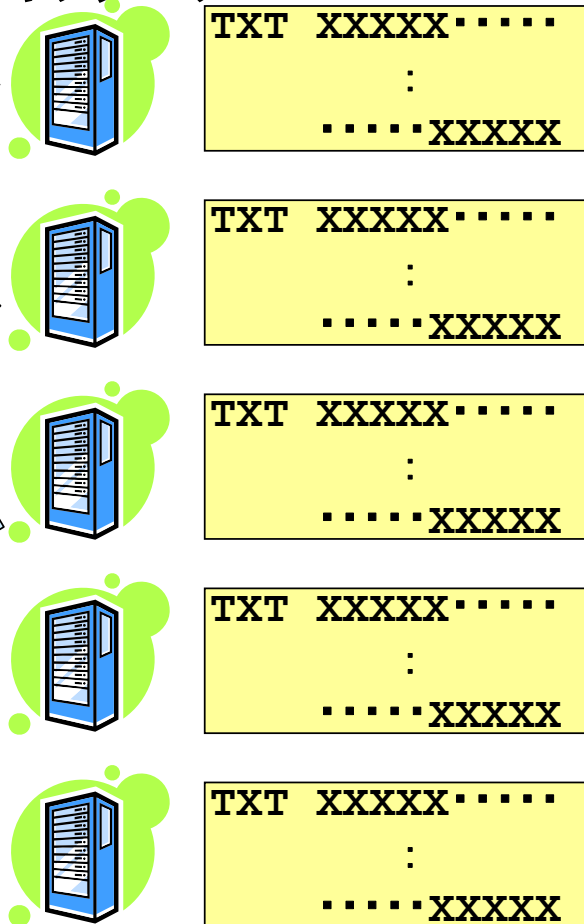
攻撃対象のコンピュータの
IPアドレスを騙って
一斉にDNS問い合わせを行う



攻撃対象の
コンピュータ



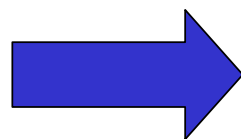
DNSキャッシュサーバ



何が問題なのか

DNSの仕組み・特徴

UDPなので処理が軽い
小さな問い合わせに大きな応答
インターネットの根幹機能の一つ
キャッシュ機能の存在



DNS Amp攻撃の特徴

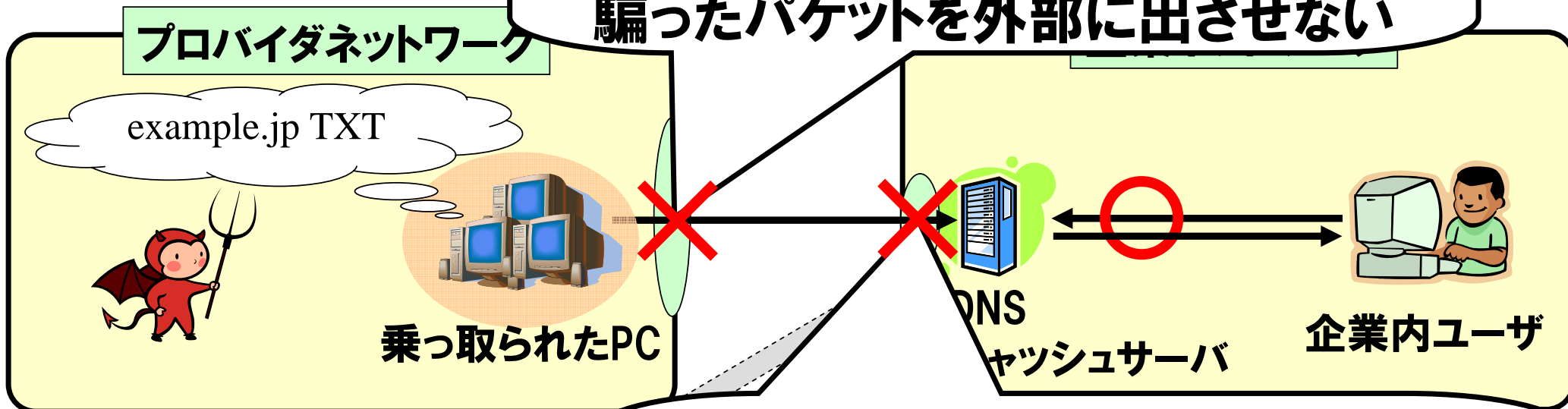
UDPなので送信元の詐称が容易
容易に大きなデータを作成可能
インターネット中に踏み台が存在
踏み台の被害に気づきにくい

DNSの仕組み・特徴そのものを悪用している

DNS Amp攻撃への対策

2つの対策

① 自分のネットワークが攻撃元とならないようにするため、IPアドレスを騙ったパケットを外部に出させない



攻撃対象の
コンピュータ



② 自分のDNSキャッシュサーバを踏み台にされないようにするため、外部からのDNS問い合わせに回答させない

DNS Amp攻撃への対策

① IPアドレスを騙ったパケットを外部に出させない

⇒ Source Address Validation (送信元検証) の導入

– Ingress Filter (BCP 38 / RFC 2827)

– バックボーン側通信機器で送信元IPアドレスの正当性を確認

– 偽装された送信元IPアドレスを利用した通信を遮断

・ プロバイダやiDC単位での導入が望ましい

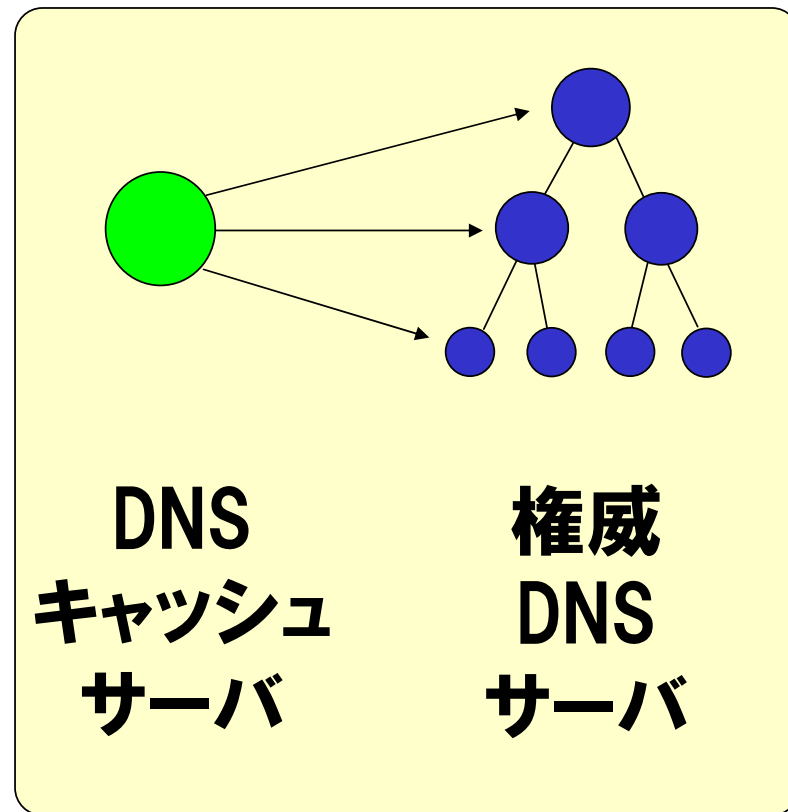
DNS Amp攻撃への対策

②外部からのDNS問い合わせに回答させない

Open Resolverの撲滅

Open Resolverって何？

- ・ どこからのDNS問い合わせにも応答する状態のDNSサーバ
- ・ ここで素直な疑問「DNSサーバってインターネット上のどこからの問い合わせでも応答しなきゃいけないんじゃないの？」
- ・ DNSサーバには機能の異なる2種類のサーバが存在する
 - 「DNSキャッシュサーバ」と「権威DNSサーバ」



DNSキャッシュサーバと権威DNSサーバ

DNSキャッシュサーバ

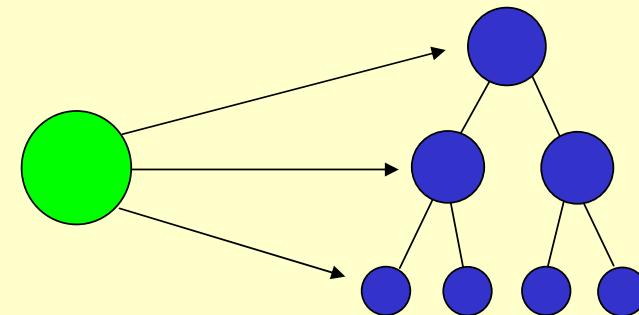
- ユーザが参照
- ゾーンデータを管理しない
- 反復検索を行う
- データをキャッシュする

組織内ネットワークからの
問い合わせにのみ応答す
ればよい

権威DNSサーバ

- DNSキャッシュサーバが参照
- ゾーンデータを管理する
- 反復検索を行わない
- データをキャッシュしない

インターネットからの全て
の問い合わせに応答する
必要あり



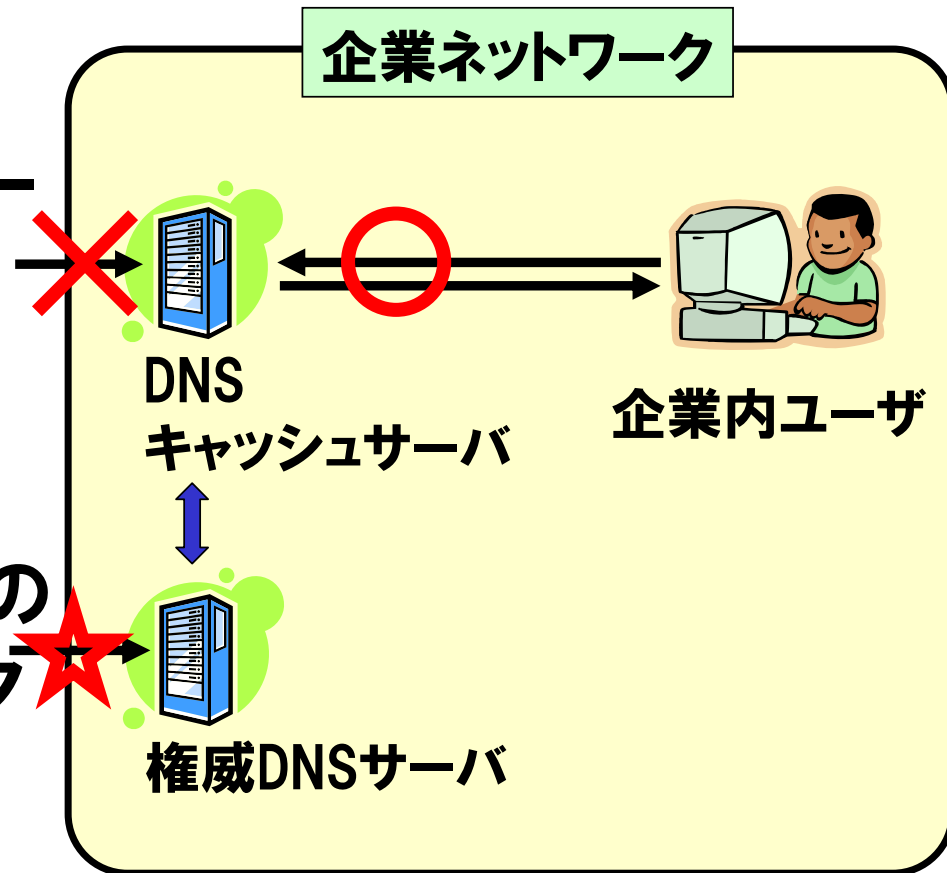
DNS
キャッシュ
サーバ

権威
DNS
サーバ

Open Resolverの撲滅のために

必要な3つの対策

- ① DNSキャッシュサーバと権威DNSサーバ (DNSコンテンツサーバ) の分割
- ② 権威DNSサーバでは unnecessaryな反復検索機能を無効に設定
- ③ DNSキャッシュサーバでは外部からの問い合わせに回答しないようにアクセスコントロールを設定



まとめ – DNS Amp攻撃を撲滅するために

- ・ **自分のネットワークが攻撃元とならないように**
 - Source Address Validation (送信元検証) が有効です
- ・ **自分のDNSサーバを踏み台にされないように**
 - あなたのDNSサーバ、Open Resolverになっていませんか？
 - 3つの対策を実施しましょう
 - ① DNSキャッシュサーバと権威DNSサーバを分離
 - ② 権威DNSサーバでは反復検索機能を無効に
 - ③ DNSキャッシュサーバでは自分以外のネットワークからのアクセスを禁止

インターネット全体での取り組み

- ・ **会議・イベント等における活動**
 - INTEROP / Internet Week 等
 - APNIC / RIPE Meeting 等
- ・ **オペレータコミュニティ**
 - JANOG / NANOG / OARC 等
 - DNSOPS.JP
 - ・ BoF: 6月13日(水) 18:30- (参加無料)